

# In Succession to tradition Leap

校友会会報

No.

33

発行：大阪学院大学校友会

平成28年4月1日発行

〒564-0011

大阪府吹田市岸部南1-19-15

스튜디오オリバージュ

Tel 06-6318-3260

Fax 06-6318-3261

URL <http://www.ogu-koyukai.jp/>

E-mail [koyu@ogu.ac.jp](mailto:koyu@ogu.ac.jp)

「Leap」とは「飛躍」であり、校友会がさらなる発展を遂げるという意味が込められています。

## 昭和37年当時の時計塔

体育館側から現在の時計塔方面を眺めた風景。左下の写真は阪急電車側にあった正門。

## 現在のキャンパススナップ

JR岸辺方面よりキャンパスを鳥瞰で撮影した航空写真。上部中央には併設高等学校の白い学舎を垣間見ることができます。



## 昭和58年完成の現時計塔

キャンパス拡張計画の一環として完成した17号館に隣接する現在の時計塔。高さ45m、四方に時計を持ち大学のシンボルタワーとなっています。内部には各フロアを行き来するエレベーターが設置されています。



## Topics

- 2 会長あいさつ/都道府県別校友会会員数/大阪学院大学～History～
- 3 総会・懇親会報告
- 4 支部だより(北陸・東海・滋賀・京都・奈良・岡山・広島・四国・九州)
- 6 クラブ活動報告

- 8 教員からのメッセージ/私のお薦めの一冊/教員人事
- 9 OB紹介(若井英忠さん、濱田秀昭さん、上西優美安さん、佐藤滋彦さん)
- 10 OGUふるさとタイム実施報告/学生奨励金報告/募集事項/陶芸無料教室
- 11 岸辺祭協賛報告/北陸・東海・滋賀・京都・奈良・岡山・広島支部  
模擬店出店報告

## 校友会からのお知らせ

校友会行事・支部活動・各種案内など、会報に掲載している内容以外にも、ホームページにおいて様々な情報を提供しています。是非ご覧下さい。URL <http://www.ogu-koyukai.jp/>

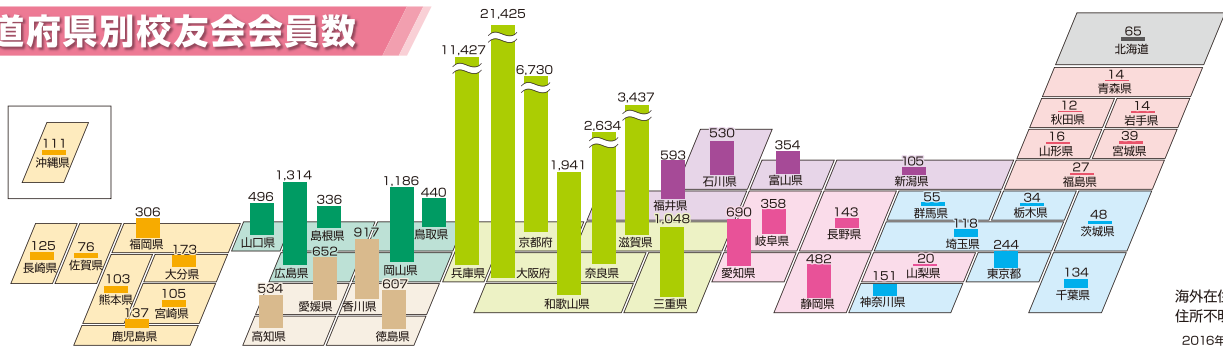
## 会長あいさつ

若草萌える季節、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
平素は校友会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
今年も約1,000名の卒業生が母校を巣立ち、校友会新会員として迎えることが出来ました。  
ここに84,000名余りの会員共々心からお祝い申し上げます。  
また、校友会でも新たに九州支部が設立されました。  
新しい支部が立ち上がるたびに、同窓の皆さんの笑顔が見られることに喜びを感じます。  
これからも多岐にわたり、在学生対象の奨学金制度や学生助成金の給付、岸辺祭協賛、  
各クラブ団体の活動への援助など充実した活動を行っていきたいと考えております。  
会員の皆様方には、今後とも更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



会長 岡本 寿和

## 都道府県別校友会会員数



## 大阪学院大学 ～ HistoryⅡ～

大阪学院大学の歴史は、1940年に創設された大阪で最も古い歴史を有する「関西簿記研究所（現在の関西経理専門学校）」に始まります。それから23年後の1963年に創立した「大阪学院大学」も2016年で創立53年目を迎え、関西においても伝統校としての地位を確立しています。そこで我等同窓会組織である校友会では、本紙面上において、そのHistoryを3期に分け、常に新たな時代を展望し7学部8学科を有する総合大学として発展し続け、現在に至るまでの歴史をひも解いてみたいと思います。

History I/1962年～1980年 II/1981年～2000年 III/2001年～2016年

### 大阪学院大学の出来事

|              |                                                                              |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 1981年(昭和56年) | 1976年(昭和51年)から開始された<br>キャンパス拡充整備年次計画により、16号館が完成                              |
| 1983年(昭和58年) | 17号館(シンボルトワー／現在の時計塔)完成                                                       |
| 1984年(昭和59年) | キャンパスが「日本造園学会賞」を受賞                                                           |
| 1985年(昭和60年) | CNN放送などの衛星放送受信システムを設置<br>メディアセンターの設置<br>視聴覚システム内蔵のAV教室完成                     |
| 1986年(昭和61年) | 1号館(短期大学部新学舎)が完成<br>短大の学章・シンボルマーク・スローガンを策定<br>テニスコート、バスケットコートなど体育施設の拡充       |
| 1987年(昭和62年) | 短期大学／国際文化学科増設                                                                |
| 1988年(昭和63年) | パイロイト大学(ドイツ)と学術交流協定締結                                                        |
| 1989年(平成元年)  | オルレアン大学(フランス)と学術交流協定締結                                                       |
| 1990年(平成2年)  | 大学／国際学部増設<br>5号館が完成                                                          |
| 1994年(平成6年)  | 大学／商学部商学科を流通科学部流通科学科に改組・転換<br>大学商学部経営学科を経営科学部経営科学科に改組・転換<br>大学院／国際学研究科修士課程増設 |
| 1995年(平成7年)  | 大学院／法学研究科修士課程増設                                                              |
| 1996年(平成8年)  | 大学院／国際学研究科博士課程増設                                                             |
| 1997年(平成9年)  | 大学院／法学研究科博士課程増設                                                              |
| 2000年(平成12年) | 法学部に法政策学科増設<br>情報学部情報科学、企業情報学部企業情報学科増設                                       |

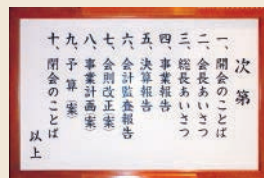
### 世の中の出来事

|              |                                                                                      |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 1981年(昭和56年) | アイドルユニット「ピンク・レディー」解散<br>福井健一が日本人初のノーベル化学賞を受賞                                         |
| 1982年(昭和57年) | 500円硬貨発行                                                                             |
| 1983年(昭和58年) | 東京ディズニーランド開園                                                                         |
| 1984年(昭和59年) | オーストラリアよりコアラが<br>日本に初上陸                                                              |
| 1985年(昭和60年) | 阪神タイガースが球団創立51年目にして初の日本一<br>マイクロソフトからOSソフト「Windows」が発売<br>日本電信電話(株)、日本たばこ産業(株)として民営化 |
| 1986年(昭和61年) | ハレーすい星が76年ぶりに地球大接近<br>自動車の一般道シートベルトが原則義務化<br>伊豆大島の三原山が209年ぶりに噴火                      |
| 1987年(昭和62年) | 世界の人口が50億人を突破                                                                        |
| 1988年(昭和63年) | 青函トンネル・瀬戸大橋が開通                                                                       |
| 1989年(平成元年)  | 消費税スタート                                                                              |
| 1990年(平成2年)  | 共通一次試験が大学入試センター試験に改名、第1回を実施<br>秋山豊寛が日本人初の宇宙飛行士に                                      |
| 1994年(平成6年)  | 向井千秋が日本人女性初の宇宙飛行士に<br>関西国際空港が開港<br>大相撲で貴乃花が横綱昇進                                      |
| 1995年(平成7年)  | 阪神・淡路大震災                                                                             |
| 1996年(平成8年)  | アトランタオリンピック開催                                                                        |
| 1997年(平成9年)  | 大阪ドーム・名古屋ドームがオープン                                                                    |
| 2000年(平成12年) | シドニーオリンピック開催<br>OB高橋尚子さんが女子マラソンで金メダルを獲得                                              |



## 平成27年度 総会・懇親会 開催

平成27年5月23日(土)正午より母校大阪学院大学本館7階ホールにおいて、校友会総会が開催されました。  
富田幹事による司会進行で、岡本会長より開会の挨拶を頂きました。  
議長には橋本副会長、書記には辻幹事・原田幹事が承認され、次の通り議事が進行了しました。



### 事業報告について

議長指名により、森田副会長から次の通り報告があった。

1. 会報(第31号)を平成26年4月1日付で発行
2. 平成26年度大阪学院大学校友会総会・懇親会開催
3. 校友会入学奨励金支給
4. 学生奨励金支給
5. 校友会奨学金支給
6. 卒業記念品を作成し平成26年9月および平成27年3月卒業生に配付
7. 岸辺祭に協賛

### 決算報告について

前野会計より決算報告書に基づき報告があった。

### 会計監査報告について

決算報告に引き続き、議長指名により黒石監査役から平成27年4月15日(水)、黒石・石原両監査役により監査を行った結果、正確に執行されているとの報告があった。

### 平成27年度の事業計画(案)について

議長指名により宮地副会長から平成27年度事業計画について次の通り説明があった。

1. 会報(第32号)を平成27年4月1日付で発行
2. 平成27年度大阪学院大学校友会総会・懇親会開催
3. 校友会入学奨励金支給
4. 学生奨励金支給
5. 校友会奨学金支給
6. 卒業記念品を作成し平成27年9月および平成28年3月卒業生に配付
7. 岸辺祭に協賛
8. 九州支部設立準備

### 平成27年度予算(案)について

議長指名により小松会計から配布資料「平成27年度大阪学院大学校友会予算書(案)」に基づき説明があった。

各議事について報告・説明の後、質疑応答があり、議長から承認を求め全ての議題が満場一致の拍手をもって承認されました。

以上により本総会の議事を終了し、司会者から総会出席者に対し審議協力への謝意が述べられ閉会となりました。総会後は出席者の記念撮影が本館前にて行われ、懇親会へと移動されました。

#### 平成26年度 大阪学院大学校友会決算報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで  
(単位:円)

| 科 目         | 予算額        | 決算額        |
|-------------|------------|------------|
| 会 費 収 入     | 36,165,000 | 40,125,000 |
| 受 取 利 息     | 0          | 3,269      |
| 校友会維持基金取崩収入 | 0          | 0          |
| 雑 収 入       | 0          | 0          |
| 前 年 度 繰 越 金 | 16,183,692 | 16,183,692 |
| 合 計         | 52,348,692 | 56,311,961 |

(単位:円)

| 科 目         | 予算額        | 決算額        |
|-------------|------------|------------|
| 校友会維持基金     | 0          | 0          |
| 校友会奨学金      | 0          | 0          |
| 校友会館建設特定預金  | 0          | 0          |
| 校友会奨 学 金    | 1,250,000  | 1,250,000  |
| 入 学 奨 励 金   | 3,000,000  | 700,000    |
| 学 生 奨 励 金   | 500,000    | 150,000    |
| 会 議 費       | 300,000    | 216,749    |
| 事 務 費       | 250,000    | 207,786    |
| 慶 弔 費       | 100,000    | 162,822    |
| 総 会 費       | 2,000,000  | 1,513,488  |
| 会 報 費       | 2,500,000  | 2,143,466  |
| 通 信 運 搬 費   | 3,500,000  | 3,672,956  |
| 支 払 手 数 料   | 100,000    | 92,460     |
| 旅 費 交 通 費   | 3,500,000  | 4,401,139  |
| 卒 業 記 念 品 費 | 3,500,000  | 3,032,640  |
| 支 部 助 成 費   | 8,000,000  | 7,999,708  |
| 備 品 購 入 費   | 150,000    | 0          |
| 保 険 料       | 50,000     | 13,500     |
| 水 道 光 熱 費   | 350,000    | 300,019    |
| 行 事 協 賛 金   | 3,500,000  | 2,929,307  |
| 事 務 機 使 用 料 | 700,000    | 512,882    |
| 図 書 費       | 50,000     | 48,444     |
| 貸 借 料       | 3,906,000  | 3,906,000  |
| 人 件 費       | 8,000,000  | 7,270,187  |
| 印 刷 製 本 費   | 100,000    | 58,492     |
| 消 耗 品 費     | 500,000    | 238,422    |
| 修 繕 費       | 50,000     | 0          |
| 委 託 費       | 162,000    | 162,000    |
| 雑 費         | 1,000,000  | 1,209,791  |
| 予 備 費       | 5,330,692  | 227,717    |
| 小 計         | 52,348,692 | 42,419,975 |
| 収 支 差 額     | 0          | 13,891,986 |
| 合 計         | 52,348,692 | 56,311,961 |

財 産 目 録 平成27年3月31日

| 科 目     | 金額(円)        | 備 考                          |
|---------|--------------|------------------------------|
| 流 動 資 産 | (28,760,234) |                              |
| 現 金     | 464,210      |                              |
| 普 通 預 金 | 18,967,126   | 三菱東京UFJ銀行 みずほ銀行吹田支店他1行       |
| 郵 便 振 替 | 9,328,898    | 岸辺駅前郵便局                      |
| 固 定 資 産 | (18,163,380) |                              |
| 建物付属設備  | 14,010,500   | 校友会事務所内装・電気工事費(注1)           |
| 敷 金     | 4,000,000    | 近オクダファミリー 預け入れ               |
| 電話加入権   | 152,880      | (06)6318-3260, (06)6318-3261 |
| 合 計     | 46,923,614   |                              |

(注1)建物付属設備の取得合計額14,010,500円の償却累計額は12,494,561円である。

負債の部

| 科 目     | 金額(円)     | 備 考      |
|---------|-----------|----------|
| 流 動 負 債 | (738,030) |          |
| 未 払 金   | 700,000   | 入学奨励金7名分 |
| 預 り 金   | 38,030    | 社会保険料    |
| 合 計     | 738,030   |          |

#### 平成27年度 大阪学院大学校友会予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで  
(単位:円)

| 科 目         | 金 額        | 備 考                                                                                                                                                                                                |
|-------------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 費 収 入     | 27,375,000 | 大学<br>@15,000円×932名(1,013名×92.0%)=13,880,000円<br>@15,000円×857名(932名×92.0%)=12,855,000円<br>雑入<br>@15,000円×19名(1名×91.0%)=285,000円<br>@15,000円×12名(18名×91.0%)=255,000円<br>在職者大学・短大とも平成27年4月1日現在数に基づく。 |
| 受 取 利 息     | 0          | 預金利息                                                                                                                                                                                               |
| 校友会維持基金取崩   | 0          |                                                                                                                                                                                                    |
| 前 年 度 繰 越 金 | 13,891,986 | 0                                                                                                                                                                                                  |
| 合 計         | 41,266,986 |                                                                                                                                                                                                    |

(単位:円)

| 科 目         | 金 額        | 備 考               |
|-------------|------------|-------------------|
| 校友会維持基金     | 0          |                   |
| 校友会奨学金      | 0          |                   |
| 校友会館建設特定預金  | 0          |                   |
| 校友会奨 学 金    | 1,250,000  | @250,000×5人       |
| 入 学 奨 励 金   | 1,000,000  |                   |
| 学 生 奨 励 金   | 300,000    |                   |
| 会 議 費       | 250,000    |                   |
| 事 務 費       | 250,000    |                   |
| 慶 弔 費       | 100,000    |                   |
| 総 会 費       | 1,800,000  |                   |
| 会 報 費       | 2,100,000  | 会報第32号印刷代等        |
| 通 信 運 搬 費   | 3,500,000  | 総会案内・会報発送代金・電話料金等 |
| 支 払 手 数 料   | 100,000    |                   |
| 旅 費 交 通 費   | 3,500,000  |                   |
| 卒 業 記 念 品 費 | 2,500,000  |                   |
| 支 部 助 成 費   | 7,300,000  |                   |
| 備 品 購 入 費   | 100,000    |                   |
| 保 険 料       | 30,000     | 火災保険料             |
| 水 道 光 熱 費   | 350,000    |                   |
| 行 事 協 賛 金   | 3,000,000  |                   |
| 事 務 機 使 用 料 | 600,000    |                   |
| 図 書 費       | 50,000     |                   |
| 貸 借 料       | 3,906,000  | @325,500×12       |
| 人 件 費       | 7,500,000  |                   |
| 印 刷 製 本 費   | 70,000     |                   |
| 消 耗 品 費     | 250,000    |                   |
| 修 繕 費       | 50,000     |                   |
| 委 託 費       | 162,000    |                   |
| 雑 費         | 1,000,000  |                   |
| 予 備 費       | 248,986    |                   |
| 合 計         | 41,266,986 |                   |

#### 基金繰入内訳表

平成27年3月31日

| 科 目        | 金額(円)       | 備 考          |
|------------|-------------|--------------|
| 校友会館建設特定預金 | 349,600,000 | みずほ銀行吹田支店他1行 |
| 校友会維持基金    | 42,511,455  | みずほ銀行吹田支店他1行 |
| 校友会奨 学 金   | 134,600,000 | みずほ銀行吹田支店他1行 |
| 合 計        | 526,711,455 |              |

平成26年度収支決算書・財産目録・基金繰入内訳表を上記のとおり報告いたします。  
平成27年4月15日  
会 長 岡 本 寿 和 郎  
会 計 小 松 久 美 子 郎  
会 計 前 野 見 久 臣

#### 監 査 報 告 書

大阪学院大学校友会 平成26年度収支決算書・財産目録・基金繰入内訳表、  
各項の調査を遂げ、その正確なることを認定いたします。

平成27年4月15日  
監 査 役 黒 石 健 弘 郎  
監 査 役 石 原 淳 行 郎

## 懇 親 会 の 様 子

総会終了後は、卒業生でアカペラユニットとして活躍している「クリアランス」のオープニングセレモニーで始まり、岡本会長の挨拶、角田学生部長より祝辞、森田副会長の乾杯の発声をいただき、歓談のひと時を過ごしました。

吹奏楽部の皆さんには、素敵な合奏を披露していただき会場の皆さんは手拍子をしながら楽しんでいました。ピング大会でも盛り上がり楽しい懇親会を開く事が出来ました。

また、昨年度も卒業生の交流の場として、昭和45、60年の卒業生を懇親会にご招待させていただき、ご参加いただいた皆様には大変ご好評をいただきました。これからも皆様に喜ばれる企画を考えてまいりますので是非ご参加下さい。



●今号から各支部を順にクローズアップしてご紹介していきます。

## 北陸支部

連絡先 大矢文男 支部長 TEL 090-2832-0214



校友会会員の皆様には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本支部の活動に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本支部は昨年も様々な活動を開催しました。

6月、金沢で第五回北陸支部総会を岡本会長はじめ各支部役員の皆様ご参加のもと開催しました。

8月、北陸支部親睦会では、富山市八尾で9月1日から開催の「越中八尾おわら風の盆祭り」の前夜祭に参加しました。前回に続き今回も数組の家族連れと岡本会長や他支部の参加希望の方にも参加いただき、温泉に一泊、美味しい酒と料理を楽しみました。

10月、4年連続と恒例の年間行事として定着した岸辺祭では、米、九谷焼等北陸の特産品を販売しました。



(スーパーレディース駅伝応援後の永平寺にて)

11月、福井で開催されたスーパーレディース駅伝での母校陸上部の応援では、実業団を含む強豪揃いの中、前回の優勝に続き今回も見事素晴らしい成績で、その力走に私たち応援参加者一同は感動と勇気をもらいました。

北陸支部は本年、設立6年目を迎えます。今後も、支部活動を通して会員相互の親睦を図り、母校並びに校友会の発展に幾らかでも寄与できるよう、活発な活動を展開していく所存です。



総会日程 平成28年6月5日(日) ホテル金沢

## 東海支部

連絡先 加藤 渉 支部長  
TEL 090-4088-2399

平成27年7月12日、キャッスルプラザホテル名古屋にて第5回東海支部総会と懇親会を開催致しました。当日は、大学より金川教授、大野事務長、校友会より岡本会長はじめ各支部役員様のご臨席を頂きました。総会では、前年度の事業報告、決算報告が行われ、続いて27年度事業計画、予算案の報告、支部会則の一部改正と役員改選を行いました。

今回の役員改選では新たに若手2名が幹事として任命された事で今後の支部の活動にも一層の弾みがつくものと考えております。

岸辺祭では、3年連続で射的・ラスク販売の模擬店を出店致しました。当日は晴天に恵まれ、多数の方々に来店頂き、大盛況の内に無事終了することができました。

東海支部では、「明るく・楽しく・皆が集える支部」を目指して、地域文化講座をはじめとした各種行事、「東日本大震災の学校や養護施設を支援しよう」の志でベルマーク活動等を積極的に行っています。

本年総会・懇親会では、多数の卒業生の皆様の参加をお待ちしています。



総会日程 平成28年7月10日(日) キャッスルプラザホテル名古屋

## 滋賀支部

連絡先 仲野弘子 支部長  
TEL 077-573-3954

おかげさまで、当支部も平成28年で節目となる10年目を迎えることとなりました。滋賀支部としては、定期的に地域活動である琵琶湖周辺の清掃活動や、ボーリング大会などを開催し会員の皆さまと交流を深めてまいりました。

また、大学主催の岸辺祭では毎年模擬店出店の協賛も行っております。

本年、記念すべき10周年の総会及び交流会では、校友会の会員の皆様方、大学関係者の皆様に滋賀県の良さを知っていただけるような企画をご用意し、琵琶湖が眺望できるホテルで開催を予定しております。ぜひ、滋賀支部総会にご参加いただき、会員の皆様方との交流を深めていただき、また、お時間が許せば、日本一大きな琵琶湖を周遊できる遊覧船や世界遺産である比叡山延暦寺の参拝など、滋賀を満喫していただけたら幸いに存じます。

最後になりましたが、会員の皆様方、大阪学院大学の関係者の皆様方のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。



総会日程 平成28年7月17日(日) 琵琶湖グランドホテル



## 京都支部

連絡先 山口裕平 支部長  
TEL 075-841-0430

平成27年6月28日に京都ブライトンホテルにて第13回総会及び懇談会を開催しました。懇談会では例年通りカラオケ大会を行い、会場は大いに盛り上がりしました。

そして10月25日に支部活動として岸辺祭に模擬店を出店させていただきました。ワラビの根から採取される希少な本わらび粉を使用し、独自の製法で丹念に練り上げたわらび餅を販売しました。おかげさまで大変ご好評いただき感謝しております。

また今年も在校生や卒業生の皆様に喜んでもらい、また交友の輪が広がるように積極的に活動していきますのでよろしくお願いします。



総会日程 平成28年6月26日(日) 京都ブライトンホテル

## 奈良支部

連絡先 中井二上 支部長  
TEL 0745-48-4880

奈良支部の仕事を始め、6月13日(土)初夏のバーベQ大会です。会場はラッテたかまつで参加者は本部岡本会長を含め27名の参加者でした。

次は6月21日(日)第9回総会及び懇親会を橿原ロイヤルホテルにて開催致しました。今回は来賓として本学の角田学生部長・大野事務長のご臨席と本部やご遠方より各支部こそぞのご参加に奈良支部役員一同たいへん感謝致しております。ゲストの「津軽三味線」やカラオケ・ビンゴゲーム大会は大いに盛り上がりしました。

次は9月6日(日)に啓発活動の奈良県主催の「クリーンキャンペーン」橿原神宮付近の清掃活動に参加致しました。

次は10月25日(日)本学の岸辺祭に奈良県の特産品を販売致しました。今回は奈良支部の役員及び会員の協力で総勢10名のキャラバン部隊で参加致しました。天候にも恵まれ素晴らしいおもてなしが出来ました。

次は11月7日(土)秋のバーベQ大会です。今回の鍋將軍は吉村さんが担当致しました。ある銀行の行員ですが、やきそば屋が出来ると大変好評でした。

次は1月17日(日)新年の集いを橿原ロイヤルホテルで本部より岡本会長を迎え和やかに開催致しました。

奈良支部では、「家族的な優しいお付き合い」をモットーにいろいろなイベントを予定しておりますので支部活動に積極的にご参加下さい。



総会日程 平成28年6月19日(日) 橿原ロイヤルホテル

## 岡山支部

連絡先 折田謙司 会計  
TEL 086-225-1078

平成27年7月5日(日)岡山プラザホテルにて第15回岡山支部総会及び懇親会を開催いたしましたところ、本部から、会長、副会長、来賓に金川教授をお迎えし、多くの皆様の出席を頂きました。また、新たに9月立ち上げ予定の九州支部からも来岡され、総会も悉く終わり厚くお礼申し上げます。

懇親会では、岡本会長、来賓の金川教授から温かいご祝辞も頂き、和やかな雰囲気の中、岡山出身の「クリアランス」の歌、ビンゴゲームで豪華景品のアトラクションを催させて頂きました。また様々な情報交換の場としても、岡山支部役員一同大変感謝致しております。有意義な懇親を深める事が出来たように思います。

そして、第54回岸辺祭にて岡山支部も岡山の特産品のデニム生地、バナナロール等を出店し、今回も大好評でした。御協力、御協賛頂きました支部会員様、有難う御座いました。

岡山支部では、岡山県在住で興味がある方は、是非連絡先までご連絡をお願いします。



総会日程 平成28年7月3日(日) 岡山プラザホテル

## 広島支部

連絡先 開地順一 幹事長  
TEL 084-922-8921

春暖の候、会員の皆様方には平素より多大なるご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成27年6月14日(日)3年ぶりに福山で広島支部総会を開催いたしました。初めての参加者を多数お迎えし大変盛況な総会となりました。例年通り8月には納涼ボーリング大会を開催し、昨年に続き10月25日には岸辺祭に参加いたしました。

今年度は6月12日(日)にリーガロイヤルホテル広島にて支部総会を予定しております。総会に先立ち原爆ドーム・原爆資料館の見学を予定しております。お誘いあわせの上多数のご参加をお待ちしております。

また、来年度は広島支部設立10周年という節目の年を迎えます。一人でも多くの会員の皆様に参加していただけるような支部総会となるよう、支部長をはじめ役員が丸となって準備をしているところでございます。

最後になりましたが、会員の皆様方と大学関係者の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



総会日程 平成28年6月12日(日) リーガロイヤルホテル広島

## 四国支部

連絡先 前田忠信 支部長  
TEL 090-5912-9639

発足2年目にてすでに交流会も3回となり、年代問わず皆さまといろんな話ができるようになりました。企画イベントには毎回幅広い年代の会員が多数参加しており盛況です。今後は岸辺祭への参加や更に多くの会員様に来て頂けるような企画を考えていきたいと思います。

また在学生向けには就職のきっかけとなるようなOB在籍の企業訪問などを企画・協力していきたいと思います。

広域に渡る支部ですが、各県での交流も少しずつですが浸透し始めており、大学を出て四国へ帰っても安心できる体制や、交流の良さが伝わればと思います。

四国支部ホームページ: <http://www.ogu-koyukai.org/shikoku/>

総会日程 平成28年7月24日(日) リジェール松山

## 九州支部

連絡先 松永卓也 支部長  
TEL 090-9589-1400

皆様初めまして、九州支部・支部長を仰せ付けられました松永卓也です。宜しくお願い申し上げます。

九州支部は、校友会・支部発足を目的に九州8県在住の卒業生を対象に会員メンバーを集う為、DMを送し会合にご出席頂き設立準備会を立ち上げました。

それから、設立準備会有志のご尽力により、平成27年9月6日に設立総会・懇親会を行う事が出来ました。

又、本年1月9日には、新しいメンバー方々と楽しい新春懇親会を行えました。

先ずは会員増強を図り、まだ1年を満たない新しい支部ですのでこの会報を見て九州支部の設立を知って頂きご加入頂ける事を切に願っております。何卒宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、設立に際し岡本会長をはじめ大学関係者・各支部の役員・事務局員の皆様には、多大なるサポート頂いた事に衷心より感謝申し上げます。有難う御座いました。



総会日程 平成28年7月30日(土) 八仙閣



# かけがえのない時間を過ごした 思い出のクラブ・サークル。 前年度の活躍をご紹介します。

## UNIVERSITY CLUB ユニバーシティクラブ



ユニバーシティクラブとは、  
課外活動を通して優れた人材の育成と、  
本学のより一層の活性化を図るために大学を代表する  
クラブとして指定されている強化クラブです。  
経験豊かな指導陣と、充実した設備環境のもと、  
リーグ優勝や全国制覇などの目標を掲げて活動しており、  
在学生だけでなく卒業生からも期待を集めています。

### 祝!全国制覇 「第59回信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦」初優勝



### 硬式野球部



#### 主な戦績

- ・関西六大学野球  
春季リーグ戦6位
- ・関西六大学野球  
秋季リーグ戦3位
- ・関西六大学野球連盟  
春季新人戦優勝

【監督】西山 正志

### ゴルフ部(男子)



#### 主な戦績

- ・関西学生男子春季1部校  
学校対抗戦1位
- ・関西学生男子秋季1部校  
学校対抗戦1位
- ・全国大学ゴルフ対抗戦2位
- ・信夫杯争奪  
日本大学ゴルフ対抗戦1位

【ヘッドコーチ】井上 尚彦

### ゴルフ部(女子)



#### 主な戦績

- ・関西学生女子春季1部校  
学校対抗戦3位
- ・関西学生女子秋季1部校  
学校対抗戦6位
- ・全国女子大学ゴルフ  
対抗戦8位

【ヘッドコーチ】井上 尚彦

### 陸上競技部(男子)



#### 主な戦績

- ・関西学生対校  
駅伝競走大会予選会3位
- ・関西学生対校  
駅伝競走大会10位

【監督】志水 貢一  
【ヘッドコーチ】弘 潤一  
【コーチ】松尾 信之介

### 陸上競技部(女子)



#### 主な戦績

- ・関西学生対校女子  
駅伝競走大会2位
- ・全日本大学女子  
駅伝対校選手権大会6位
- ・全日本大学女子選抜  
駅伝競走6位

【監督】志水 貢一  
【ヘッドコーチ】弘 潤一  
【コーチ】松尾 信之介



### アメリカンフットボール部



#### 主な戦績

- ・関西学生アメリカンフットボールリーグ【Div.II Aブロック】5位
- ・西日本学生アメリカンフットボール選手権大会6位

【総監督】高野 元秀  
【ヘッドコーチ】小谷 憲一  
【コーチ】伊折 竜蔵

### バスケットボール部



#### 主な戦績

- ・関西学生バスケットボール選手権大会3位
- ・西日本学生バスケットボール選手権大会4位
- ・関西学生バスケットボールリーグ戦【1部】3位
- ・全国大会出場

【監督】行広 伸太郎

### バレーボール部(男子)



#### 主な戦績

- ・関西大学バレーボール連盟男子春季リーグ戦【1部】10位
- ・関西大学バレーボール連盟男子秋季リーグ戦【1部】11位

【監督】佐伯 拓弥

### バレーボール部(女子)



#### 主な戦績

- ・関西大学バレーボール連盟女子春季リーグ戦【2部】5位
- ・関西大学バレーボール連盟女子秋季リーグ戦【2部】4位

【総監督】杉原 香一  
【コーチ】杉原 弘一

### サッカー部



#### 主な戦績

- ・関西学生サッカーリーグ【1部】4位
- ・全国大会出場

【監督】藤原 義三  
【コーチ】岡中 勇人  
上赤坂 佳孝  
北川 慶  
【GKコーチ】時久 省吾

### ラグビー部



#### 主な戦績

- ・関西大学ラグビーリーグ【Cリーグ】1位
- ・全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会出場

【監督】田代 義晴

### チアリーダー部



#### 主な戦績

- ・関西選手権大会4位
- ・JAPAN CUP 日本選手権大会5位
- ・アジアインターナショナルオープン (Division1 日本部門) 3位

【コーチ】寺島 愛子  
樋口 裕美

### 吹奏楽部



#### 主な成績

- ・大阪府吹奏楽コンクール 銀賞
- ・大阪府マーチングコンテスト オープンエントリーの部 優秀賞

【常任指揮者】花石 真人  
(大阪交響楽団 首席打楽器奏者)

## 特設サイト「OGU CLUBS」で 最新ニュースをチェック!

ユニバーシティクラブの最新情報をはじめ、全クラブ・サークルの情報を掲載した特設サイトを設置しています。今すぐ気になるクラブをチェックしてください。

OGU CLUBS

検索



【大学公式ホームページ】



【OGUクラブWEBページ】

※主な戦績・成績は2016年1月現在のものです。

## 教員からのメッセージ

### ホスピタリティ マインドを 広めていきます。



経営学部  
森重 喜三雄 教授

ホスピタリティ経営学は、今や欧米を中心に世界中で研究され、特に米国では160もの大学にホスピタリティ経営系の学部・学科が設置されています。

本学では、2008年4月に、こうした欧米のホスピタリティ経営学をベースとする日本初の本格的なホスピタリティ経営学科が開設されました。

21世紀は、上下関係や減点主義のサービス型社会から、パートナーとしての横のつながりや加点主義のホスピタリティ型社会と言われています。

ホスピタリティ型社会で求められる、ホスピタリティマインドを持った、人間力のある人財の育成が今求められています。

産業界においては、情報化にともなう自動化、システム化が進展する中、あらためて人間のあり方が問われているとともに、国境を越えて同業種・異業種を問わず企業間の相互連携へと発展し、また地方行政においても、地域間の相互連携の推進が行なわれ、人間が生きるに値する新たな価値創造への動きが顕在化してきているところです。

ホスピタリティ産業界は、2020年の東京オリンピック開催による効果で、訪日観光客数の3,000万人越えが予想され、観光需要の拡大とともに需要の増加が見込まれています。

そんな中、ホスピタリティ経営学科は、「ホスピタリティ」の考え方を基軸にして、ビジネスマネジメントの研究を行ない、社会・組織・個人の相互繁栄、産業の振興、地域の健全な発展を目的としています。

小人数制の四年間一貫のゼミナール、企業実習(就業体験)、キャリア支援、語学教育を通じて、実践的な経営力・運営力を磨き、国際感覚を身につけ、コミュニケーション力を養い、ホスピタリティ産業界(ホテル・レストラン・ツーリズム・エアライン・イベントマネジメント)における固有の理論を学び、実践的な経験を通じて、ホスピタリティ業界はもとより、あらゆる産業界で活躍できる、学問的知識と豊かな人間性の教育を目指しています。

今後とも、校友会の皆さまには、ご指導、ご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## 私のお勧めの一冊

### 書名: 『ペリー艦隊 日本遠征記』(上・下)

著者:M・C・ペリー  
(F・L・ホークス編纂、宮崎壽子監訳)  
発行所:株式会社KADOKAWA  
(角川ソフィア文庫)



経済学部  
森田 健司 准教授

とにかく、現代社会はせわしない。日々、情報が洪水のように押し寄せるだけではなく、あらゆるものが、驚くほどの速度で変化していきます。そんな現実と距離を取り、冷静な目を取り戻すために、ちょっとだけ昔に目を向けてみるのはいかがでしょうか。

日本の歴史を読み直してみると、幾つかの大きな転換点があることに気付きます。その中でも、最大のものの一つが、いわゆる「黒船来航」でしょう。ご存じマシュー・ペリー提督が、蒸気船を含む4隻の軍艦を率いて、1853年7月8日(旧暦では嘉永6年6月3日)、今の神奈川県横浜須賀市の浦賀沖にやってきた、あの事件です。

ペリー艦隊がやってきたとき、日本はごく僅かの国としか交流していませんでした。交流のなかった西洋の国々が使節を寄越してきても、幕府は門前払いしつづけてきたのです。しかし、強大な軍勢力を背景に国交の樹立を要求してきたペリー提督によって、日本の対外政策は大きく変化し、江戸時代は終わりに向かうこととなりました。

本書は、そのペリー艦隊の遠征記にして、アメリカの議会に提出された「公式文書」の翻訳です。よって、ここに書かれた情報はいい加減なものではありません。だから、本書はペリー艦隊の遠征記にして、「160年以上前の日本」を正しく記録したものでもあるといえます。

遠征記は中国や琉球に関する記録も含まれますが、やはり一番力が入っているのは、日本の部分です。これを読むと、当時の幕府の役人が、堂々とアメリカ側との交渉に臨んでいたことがわかります。また、外国語に通じた役人たちがたくさんいたことや、儒学者が極めて頭脳明晰だったことにも、驚かされるはずです。

そして、こういったこと以上に面白いのが、日本の一般庶民の様子です。彼らはとても幸せそうで、人懐っこく、アメリカの軍人たちをお客さんとして歓迎していたことが記されています。当時の日本は、世界で最も識字率が高かったといわれますが、それを裏付けるように、様々な本が美しく刷られて販売されていたことなども書かれています。

このあと15年ほどで時代は明治となり、日本は西洋列強と政治的、経済的競争を繰り広げることになりました。それが可能だったのは、幕末の段階で既にしっかりとした国民が育っていたからなのです。意外に、江戸時代って進んでいたんですね。

お勧めの「一冊」と言いつつ、上下二分冊の大部の本ではありますが、決して難しい内容のものではありません。今よりずっとのんびりしていた「160年以上前の日本」、本書はそこにタイムスリップさせてくれます。

## 教員人事

(平成28年2月18日現在)

- 法務研究科  
中西 哲也 准教授
- 商学部  
山内 克素 教授

- 経営学部  
川越 一 教授  
中田 興吉 教授  
G.T.ナカジョウ 講師
- 法学部  
藤田 弘道 教授

- 外国語学部  
H.J.シュタイン 教授
- 国際学部  
畝川 憲之 准教授

- 経営実務科  
奥井 脩二 教授  
服部美樹子 教授
- 国際センター  
J.アロウエイ 講師

(平成28年3月31日 退職予定)



# 各界で活躍するOB紹介

## OB's introduction

紙面の都合で原稿一部を要約し掲載しております。  
詳しい紹介はホームページ  
(<http://www.ogu-koyukai.jp/>)  
でご覧いただけます。



皆様、こんにちは。私は昭和52年3月に経済学部を卒業し、今は若井英忠税理士事務所の所長として中小企業の経営相談や決算申告を行っております。とりわけ今は少子高齢化や多様な社会環境下、中小企業が元気になるよう事業継承や創業支援など身近な相談相手として経営支援に力を入れて頑張っております。

また、北陸税理士会では富山支部長を経験後、現在富山県支部連絡協議会会長を務めさせていただいております。

税理士制度は申告納税制度の維持発展、国家財政の基盤を確保する上で極めて重要な制度であり、当然顧問先からの信用を得ることが一番重要ですが、この仕事を通じ地域社会に少しでも貢献できればうれしく思います。ただ、資格を取得するまでは10年位かかりました。また、大学在学中は税理士になりたいとは思ってなく4年間勉強もせずパチンコ麻雀に明け暮れる毎日でありましたが、就職により建設会社の経理総務に配属され簿記の知識が必要となり検定を受け、その延長で税理士の資格を昭和63年12月に取得、翌平成元年2月に登録し開業後27年が経過しました。これからも税理士業界の発展に寄与していきたいと思っております。

また、これまで支えてくれた妻に感謝したいと思っております。妻の良子も大阪学院大学短期大学部を昭和51年に卒業し昭和52年11月に結婚し富山へ嫁いでくれ早39年が経ちました。校友会北陸支部では、お互いに支部役員を務めさせていただいております。

今後も支部が大いに盛り上がるよう頑張りたいと思っております。最後になりますが校友会本部はもとより全国の校友会に多くの卒業生が集い楽しい校友会になるようご期待申し上げ筆をおきたいと思っております。



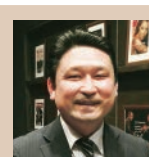
若井英忠税理士事務所  
わかい ひでた  
**若井 英忠**  
昭和52 経済 卒  
〒939-2231  
富山県富山市稲代233-3  
TEL: 076-468-3099



本店がありますジャズライブハウスのブルーノートで働いております。仕事内容は国内外のミュージシャンを招聘して生演奏と飲食を楽しんでいただく事が主な仕事です。

寄稿させていただききっかけは仕事を通じてなのですが、ある時直接飛び込みで営業に来られたミュージシャンがいらっしゃいましてお話を伺うと関西で主に活動されているアカペラグループの「クリアランス」さんでした。リーダーの国代哲彦さん自ら名古屋まで来られて頑張っている姿と、まさかの大阪学院のOBで私自身の後輩という繋がりにご縁を感じ、何とかブルーノートでのライブを実現出来るように校友会東海支部加藤支部長のお力添えもいただきまして、無事にライブを開催することができました。

この出会いが無ければ母校とは卒業しただけ終わっていたかと思っており、感謝の一言です。これからの人生もご縁を大切に生きていきたいと思います。音楽がお好きな方ぜひ名古屋ブルーノートに一度足を運んで下さい、お待ちしております。



名古屋ブルーノート 支配人  
はまだ ひであき  
**濱田 秀昭**  
平成2 経済 卒  
株式会社ミュージックペンチャーズ  
〒460-0003  
名古屋市中区錦三丁目  
22番20号 ダイテックサカエB1F  
TEL: 052-971-3790  
FAX: 052-971-2178



私は現在、バレエのダンサーとして、指導者として、また、ドトールコーヒーショップの副店長として、日々努力しております。

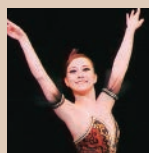
早いものでバレエ歴も20年になりました。辛いとき、辞めたいとき、本当にたくさんありました。しかし、舞台上立つ度に、続けてて良かったなと心から思えます。開演前のブザー、照明、音響、舞台装置、本番当日の慌ただしさ…何もかもがただただ、好きなんです。

5歳の頃から、生活の一部であるバレエは、無くてはならないものになっています。決して、プロと呼べるレベルではありませんが、私なりに精一杯努力しているつもりです。

時には、ミュージカルやオペラにダンサーとして出演したり、バレエの発表会や公演に参加することもあります。クラシックバレエだけでなく、コンテンポラリーや創作ダンスもあります。

好きだと言う気持ちだけで、周りは応援してくれます。学生時代も、たくさんのイベントや企画に参加させてもらいながら、バレエとの両立を応援してくれました。今では、副店長の業務とバレエを両立させて頂いています。素晴らしい人たちに囲まれて、私は本当に恵まれているなと思います。

そして、今までのたくさんの舞台、経験を活かし、子どもたちにバレエの楽しさ、面白さ、人の優しさを教え、自分自身の成長はもちろん、子どもたちの成長を見守りたいです。



バレリーナ  
うえにし ゆみか  
**上西 優美安**  
平成25 経営 卒  
劇場バレエスクール  
本部スタジオ  
〒585-0053  
大阪府河内郡千早赤坂村  
小歌68-777  
TEL/FAX: 0721-72-7518  
[www.soubiballetschool.com](http://www.soubiballetschool.com)



私は現在、地元広島県福山市の神辺町で小学生から高校生を対象に英語教室を個人運営しています。三十過ぎまで大阪にいたのですが、帰郷しニュージーランドへの短期留学や学習塾での指導経験を経て2013年より教室を始め、2014年通訳案内士、2015年英検1級の資格も取得しました。

大学時代は、いくつかのクラブに入部しましたがどれも長続きせず留年もし、3回生からは心機一転学業に専念する事にしました。ただ、この年月は自分探しの貴重な経験となりました。

名誉教授である泉美治先生のゼミでは、先生著作の「科学者の説く仏教とその哲学」をテキストに、仏教哲学について学びました。個人的にも大変お世話になり、先生の通われているお寺の勉強会にお招きいただいたり、ご自宅で食事をご馳走になったり、また、マナーについても厳しく、著名な科学者から厚いご指導をいただいたことは、私の人生の大きな誇りであり、今を生きる大きな力になっています。

渡辺貞雄先生の専門ゼミでは、労資関係を通じて日本社会、日本資本主義の抱える問題を研究しました。特に、日本の労働者のおかれている現状の探求は、社会を見る目、視点を教えていただきました。卒業式の日に、正雀駅近くの喫茶店で先生が一人一人の生徒に卒業後の進路について話しかけられていた姿を思い出します。素晴らしいキャンパスのもとで、親しみやすい先生方から正に大学ならではのアカデミックな知的刺激に満ちた様々な講義を受講できたことにとても感謝しており、現在の私の教養の礎になっています。

個人の学習教室は、入塾のきっかけは何であれ、最終的にはその指導者に教えるを請いたいかがが継続のカギになります。地域の個人塾は口コミが経営に決定的な影響を与えます。指導力だけでなく、生徒や保護者との会話が問われます。今後の目標として、英語で地域を世界に紹介するなど地元の文化の継承、発展にかかわりながら地元で信頼される教室にしていきたいと思います。



塾経営  
さとう しげひこ  
**佐藤 滋彦**  
平成6 商学 卒  
〒720-2124  
広島県福山市  
神辺町川南1015-14  
TEL: 084-962-0741



# 大阪学院大学 第54回 岸边祭★

# CHANCE!

平成27年10月24日(土)・25日(日)

爽やかな秋晴れのもと、恒例の**キッズショー**を開催しました。今回のショーはテレビで大人気の「プリンスプリキュア」「手裏剣戦隊ニンニンジャー」の2本立て、午前・午後各2回の公演でした。大好きなキャラクターたちの登場に歓声をあげる子供たち。ショー終了後にはキャラクターとの写真撮影会もあり、スマホやカメラを構えるパパ・ママたちの笑顔も絶えませんでした。

今回は**7支部**が協賛してくれました!!

10月25日(日)岸边祭に「キッズショー」「模擬店」を協賛しました!

また、**支部による模擬店出店**では

**新たに京都支部が加わり7支部の協賛**となりました。

各支部、自慢の特産品名産品をずらりと並べ、それぞれに趣向を凝らして岸边祭を賑やかに彩りました。毎年この機会を楽しみに、校友会ブースめがけてお越しくださる近隣の方々も多いようです。支部のみなさま、ご協力ありがとうございました。

## 東海支部

射的には子供たちの行列ができて大賑わい。種類豊富なラスクのワゴン販売もあり活気に満ちた模擬店でした。

## 北陸支部

いちばん人気はやはり新米コシヒカリ。ほかにも九谷焼や白えびせんべい、富山ブラックラーメンなど豊富な品ぞろえが大好評でした。

## 奈良支部

開催前からお問合せが相次いだ靴下詰め放題は今年も大好評。旬の大和やさいや三輪そうめんにも主婦の方々の注目が集まりました。

## 京都支部

初参加の京都支部からは「わらび餅」が登場。京都らしい和菓子は老若男女問わず人気でした。

## 滋賀支部

川魚のえびまめ・ごり・鮎などの佃煮や鮎ずし、赤こんにゃくなど、琵琶湖名産の珍しいお味がずらりと揃って目を惹きました。

## 岡山支部

岡山産デニム生地のにぎり売りに、キムラヤのバナナロールをはじめ懐かしのお菓子が盛りだくさん。試食販売で盛り上がりしました。

## 広島支部

有名なあわしま堂の和菓子、尾道ラーメンはもちろん、特産の牡蠣醤油など珍しい調味料が喜ばれていました。

NEW information

今年の岸边祭は10月下旬開催予定です。みなさまのお越しを心よりお待ちしております。



大阪学院大学校友会

# 総会ならびに懇親会 開催案内

日 時:平成28年5月21日(土)

総 会:大阪学院大学本館7階ホール  
12:00~(受付11:30~)

懇親会:大阪学院大学14号館02-01教室  
13:00~(受付12:30~)

会 費:一 가족につき3,000円(当日徴収)  
\*平成27年9月、平成28年3月に  
卒業された新会員の方は無料です。



<お願い>

ご出席の場合は平成28年5月12日(木)必着で、同封のハガキにて返信して下さい。

懇親会では、現役クラブ生によるアトラクションやイベント、お子様コーナー、料理コーナーを設けておりますので、ご家族揃ってお楽しみいただけます。是非、ご家族お誘い合わせの上お越し下さい。

## 特別ご招待 昭和46年・61年の卒業生の皆様へ

平成28年5月21日(土)の懇親会にご招待します。(会費無料)

校友会では、多くの卒業生の方々に校友会活動を知って頂き、会員相互の親睦をより一層深めて頂きたいとの思いから、卒業30・45年を迎えられる皆さまに是非懇親会にご参加頂きたいと願っております。

そこで本年は、昭和46年・61年の卒業生の皆さまをご招待することといたしました。

久しぶりとなる母校を訪ね、校友の皆さまと楽しい交流のひとつをすごされませんか？

なお、校友会では今後も卒業30・45年を迎えられる皆さまを順にご招待いたしますので、同窓生お誘い合わせのうえ、是非ご参加ください。

\*本年度は、昭和46年・61年にご卒業の皆さまは、校友会費の納入状況に関係なく無料でご招待します。

なお、卒業年に関係なく参加費をお支払いいただければ卒業生ならびにご家族は、どなたでも懇親会への参加は可能です。

<お問合せ>大阪学院大学校友会 TEL(06)6318-3260 E-mail : koyu@ogu.ac.jp

### 日本学生支援機構(旧・日本育英会)からのお知らせ

日本学生支援機構(旧・日本育英会)の奨学金を返済されている方(卒業生)で、経済的困難により返還が困難になった場合は「奨学金返還期限猶予願」もしくは「奨学金減額返還願」を日本学生支援機構に提出してください。返還期限猶予・減額返還制度・願出方法の詳細については、ホームページ<http://www.jasso.go.jp>/または、電話(ナビダイヤル:0570-666-301)でご確認ください。(※ナビダイヤル番号が変更になりました。)